

## 理事長あいさつ

須藤 京子

指導員の皆様には、これまでも「はまっこ」「まつっこ」「まなびっこ」での子どもたちへの指導にご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。3月には、それぞれの教室で修了式が行われました。修了式や学習発表会に臨む子どもたちの様子からは、指導員の皆さんとの深い心の結びつきが感じられました。「ボランティアの熱き心」は十分に子どもたちの心に届いているようでした。

学校での授業を理解できるように日本語の指導をする「はまっこ」、そして子どもたちのアイデンティティを確かなものとするために母語支援を続ける「まつっこ」。新年度からは、新たな支援体制での活動が始まりますが、私たち浜松外国人子ども教育支援協会の活動の基本的な理念は、変わるものではありません。

今後とも、これまで同様のご支援をよろしくお願いいたします。

## 研 修 会 平成 25 年 3 月 18 日(月)

講師：菅沼 敏之 氏（元小学校教諭）

演題：「わかる算数」

ピアジュの「数の保存性」「集合」で幕を開けた講演会は、たつぷりと用意された教材でわかりやすく説明され、算数からはじまる数学の世界に引き込まれました。

同じ解答を求めるにも、問題の出し方や教材の工夫によって子どもの理解は異なること、子どもが「知っている・習った・できる」ことを活用できるようにするのが大切であり、それを可能にするためには、教師側の工夫が不可欠であることなど、私たちが日本語を教えるときの心構えにも通じる示唆に富んだ内容でした。

菅沼先生の「算数の面白さを子どもたちに伝えたい」という熱意がひしひしと伝わってきて、私自身がこんな授業を受けたかったと思いながら、興味深く楽しい2時間を過ごしました。（萩原）



### - 授業のポイント・工夫 -

- ☆ 「3」は『数字』、「さん」と呼べば『数詞』、「数」自身は概念であって目には見えないので、まず、物と対応させることが必要である。ただ「いち、に、さん」と唱えるのではなく、「おはじきが三つあります」などと覚えさせるとよい。
- ☆ 1年生(幼児期の子ども)には、いろいろな物の「仲間分け」をしながら「数」の概念を理解させる。たとえば、動物や道具などを提示し、動くものと動かないもの、飛ぶものと飛ばないもの、などの仲間分けをさせる。次に、おはじきなどを使って、仲間分けしたものとおはじきを一つずつ対応させながら「数」をわからせる。さらに、おはじきと数字を対応させることにより、数字を覚えさせる。この『仲間』が集合という考え方につながる。
- ☆ 「加減法」では、『どちらが～多いか(少ないか)』という比較型(求差)より、『後から～増えました(減りました)』という増減型(求残)の方が正答率が高い。従って、なるべく(求残)の考え方に交換させて考えさせた方がよい。たとえば、「お客が8人、座布団は5枚、座れない人は何人？」の様に、比べるものが異なるとわかりにくい。が、「8人のお客のうち、座布団に座れるのは5人。では、座れないのは何人？」というように数詞を同じにして考えると(求残)になり、わかりやすい。



## 教室訪問

# 江南中教室からこんにちは！

平成24年度の江南中「はまっこ」教室の生徒は、1年生3名、2年生4名、3年生4名の計11名です。この生徒たちを、小島、加藤、渡辺の3人のスタッフで担当しています。

授業は、火・金曜日の5、6時間目で、1時20分から始まり、3時10分に終わります。クラス編成は、初級・中級・3年生のみの進学対応クラスの3つです。毎授業前後に、リーダーは外国人担当の先生と連絡をとり、また、月に1度、中学校の先生方(校長先生も時間が許せば)とのはまっこ会議を開き、情報共有を図っています。学校側のサポートがしっかりしているので、とてもありがたいです。(小島)



### 平成24年度「まつっこ」修了式・学習発表会

今年も、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語の母国語教室の修了式と学習発表会が、各教室ごとに行われました。日本で暮らす外国人の子どもたちにとって、母語教育は、親とのコミュニケーションを十分にとるため、また、日本語の習得を支えるためにも非常に重要です。子どもたちは、大勢の仲間や保護者の前で発表することにより、「2つの言葉が話せる」というすばらしいアイデンティティを実感したことと思います。



ベトナム語教室  
3月2日(土) 三方原公民館



### バザー 平成24年12月17日(月)

今回のバザーでは、40,014円の売り上げがありました。ご協力ありがとうございました。

なお、売上金は教材制作の材料などの購入に充てさせていただきます。



### 総会・講演会のお知らせ

日時 : 平成25年5月18日(土) 10時~12時  
場所 : Uホール  
講師 : 教育支援センター相談員 権藤 梨香 氏  
演題 : 「ブラジルに帰国した子どもたちの現状(学習状況)」



### TOMO2ホームページ リニューアル

TOMO2のホームページが新しくなりました。

私たちの理念を、日本語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・中国語・英語で紹介しています。TOMO2の歴史、活動、教材、NPOニュース(No.1~No.8)なども見ることができます。ぜひ一度覗いてみてください。

URL: [www.tomo2kodomomo.com](http://www.tomo2kodomomo.com)



### 寄付をお願いします！

当協会では、皆様より寄付を募っております。さらに充実した活動を実現させるために、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

一口 : 3,000円 (何口でも結構です)

振込先 : 浜松信用金庫 本店営業部 普 0887151  
NPO 法人浜松外国人子ども教育支援協会